

深澤(足大付) 県勢最高21位

大西(足大付) 無念の途中棄権

女子大回転

全国高校スキー

第72回全国高校スキー大会(インターハイ)第2日は8日、競技が始ま

同女子大回転(2回)で深澤ひなた(足利大付)の21位が最上位だった。深澤は58番手スタートの1回目で1分8秒07を記録し27位につけると、2回目は全体15位の1分7秒59を出して計2分15秒66をマークした。このほか初出場の長塚美音(大田原女)が91位、入賞が期待された大西美琴(足利大付)と井口花

「デビュー」ほろ苦く
〇：昨年の全国中学総体2冠の大西美琴(足利大付)のインターハイデビューは苦いものとなった。1回目途中棄権となり「もう少しインスパクション(コースの下見)で戦略を考えていければ」と悔やんだ。

「多くの人にサポートしてもらっているのに結果で応えなかった」と肩を落としたが、落ち込んではいけない。2日後の回転に向け「優勝できるように頑張ります」と雪辱を誓った。

同女子大回転(2回)で深澤ひなた(足利大付)の21位が最上位だった。深澤は58番手スタートの1回目で1分8秒07を記録し27位につけると、2回目は全体15位の1分7秒59を出して計2分15秒66をマークした。このほか初出場の長塚美音(大田原女)が91位、入賞が期待された大西美琴(足利大付)と井口花

「鬼門」になった。直前のターンで膨らみ「焦って頭がいっぱいになった」。イメージと異なる方向から起伏に突入してバランスを失い、旗門を通過できなかった。

「序盤のウエーブで板を十分に使うことができず次のターンに入らなかった。緊張もあり思うような結果が出なかったが、しっかり切り替えて回転では入賞を目指す」

同女子大回転(2回)で深澤ひなた(足利大付)の21位が最上位だった。深澤は58番手スタートの1回目で1分8秒07を記録し27位につけると、2回目は全体15位の1分7秒59を出して計2分15秒66をマークした。このほか初出場の長塚美音(大田原女)が91位、入賞が期待された大西美琴(足利大付)と井口花

「鬼門」になった。直前のターンで膨らみ「焦って頭がいっぱいになった」。イメージと異なる方向から起伏に突入してバランスを失い、旗門を通過できなかった。

「序盤のウエーブで板を十分に使うことができず次のターンに入らなかった。緊張もあり思うような結果が出なかったが、しっかり切り替えて回転では入賞を目指す」

2回目意地の巻き返し 深澤

本県から出場した1年生4人のうち、女子大回転でトップの成績を残したのは昨年の全国中学大会大回転3位の深澤ひなた(足利大付)だった。思い通りにいかなかった1回目の滑りを引きずらず、強い気持ちで2回目に挽回した。柔らかな雪質で知られる赤倉温泉スキー場の雪面の状態が「思ったよりも硬かった」。この変化に多くの選手が苦しめられ、深澤も1回目はスピードに乗り切れず27位に終わ

スポット

「柔らかな雪は得意。うまくスピードに乗れた」と好条件を追い風に、2回目は全体15位のタイムで意地をみせた。長野県小谷村出身。学業と

両立しながら競技生活を送れる同校への進学を決めた。昨夏は陸上トレーニングで体力や筋力を強化。鍛え抜いた足腰が、「昨年だったら、つぶされていたはず」と苦笑いする難コースでの完走につながった。

2日後の回転を見据え「これを糧に入賞できるようにしたい。自分の滑りを1回目からする」。かつての中学トップスキーヤーの実力をここで証明してみせる。(小玉義敏)



女子大回転で21位だった深澤(足大付) 山形県の赤倉温泉スキー場、磯真奈美撮影

められ、深澤も1回目はスピードに乗り切れず27位に終わ